

法 説 辻

岩手県曹洞宗布教師会三分間法話

今日すべきことを明日に延ばさず

平泉町・東松寺住職 千田実道

「今日すべきことを明日に延ばさず、確かにしていくことこそ、よき一日を生きる道である」とお釈迦様は教えています。

やさしい教えで、むずかしい言葉ではありませんが、ただ容易に実行できないし、実行しようとしなれないのです。

私など年何回かのテレホン法話の原稿書きと、テープの吹き込みを四攝会の一員として責任を全うしなければと計画はしますが、しかし締め切りが何日までだから、まだ日数があるからとつい日延べをしてしまいます。

いよいよ締め切りが数日後に迫った時などは、大変な思いで苦悩すると同時に忙しくなってしまう。

その結果締め切りに間に合わず迷惑をかけているありさまです。自分の怠りのせいですから誰も責めることが出来ず、自分が自分に苦しまなければならないのです。

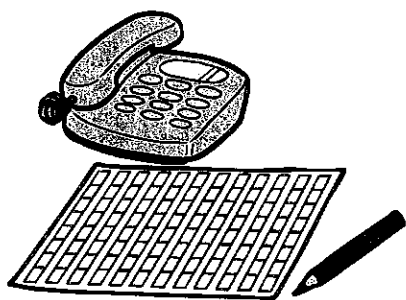
道元禪師は「病気になったら、病気が癒つてからと先送りすることなく、今より重くならないうちに行うべき事をしなさい」と訓えておられます。

いつ何が起こるか計り知れないのです。誰もが、まだ明日があると思いやすく、今しておかなければならないことをより縁遠くし、実行が鈍くなってしまう。冒頭の「今日すべき事」とは何でしょうか、勿論自分の業務で今日中にしてお

かなければならない事もありますが、さらにいつどうなるか分からない自分をよく整えることがより肝要ではないでしょうか。

そこで改めて冒頭に掲げた、お釈迦様の教えをお読みしてみましよう。

「今日すべきことを明日に延ばさず、確かにしていくことこそ、よき一日を生きる道である」



曹洞宗岩手県宗務所

テレホン法話

☎0120-62-1602

心に残る
法話を
お聞き
下さい